

子どもの貧困研究のフロンティア 定例学術研究会 ＜第41回＞

人びとは、平等に恋愛しているのでしょうか。それとも恋愛の経験は不平等で、いわば「恋愛格差」があるのでしょうか。現代日本では初婚のうち恋愛結婚が87.7%（2015年）を占めるため、未婚化、少子化、人口減少にとって恋愛は無視できないプロセスのはずです。にもかかわらず、これまで人びとがどのように恋愛しているのかについて、信頼できるデータがありませんでした。そこで、この報告では（報告者が実施した）ランダムサンプリングにもとづく全国調査データを統計分析し、とくに学歴や収入が恋愛経験とどのように関連するのかを報告します。

報告：『恋愛格差：全国調査の統計分析からわかったこと』

日時：2023年9月29日（金）

18:30 – 20:30

ハイブリット開催：ZOOM お申し込みは以下から

対面会場：東京都立大学オープンユニバーシティ

飯田橋キャンパス

（東京都千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館 3階 35教室）

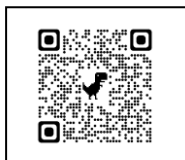
（人数を制限して対面での参加も可能としました）



報告者：小林 盾

成蹊大学文学部 教授、成蹊大学
社会調査研究所 所長、内閣府「令
和3年 子供の生活状況調査の分析報
告書」座長、『変貌する恋愛と結
婚』編者

下記より QRコード又はURLよりお申し込みください（9月29日まで）



ZOOM 申込

<https://zoom.us/meeting/register/tJUqc-itqDgjH9euxdsV9iwBJ6a4k-0usm4n>



対面申込

<https://onl.tw/wSanHJZ>

お問い合わせ

東京都立大学子ども・若者
貧困研究センター

E-mail:rccap@tmu.ac.jp

（担当者 三浦・松原）